

◆追加提案

◆七ヶ宿町道路占用料条例の一部改正

【提案の理由】

道路法施行令の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

◆七ヶ宿町公共物管理条例の一部改正

【提案の理由】

道路占用料に準じた占用料にするため、条例の一部を改正するもの。



議会活動状況

自：令和4年9月1日～至：令和5年3月31日

Table with 4 columns: 区分, 行事, 計, 累計. It lists various council activities like '定例会', '臨時会', '協議会', '委員会', and '研修会' with their respective counts and cumulative totals.

問

町民の命と生活を守る諸物価高騰対策は

答

一般家庭や農業・事業所救済処置を行う

問 昨年来、燃料、電気、食料品などのあらゆる商品の値上がりが続いています。

答 昨年来、燃料、電気、食料品などのあらゆる商品の値上がりが続いています。昨年勃発したロシアのウクライナ軍事侵攻により欧米諸国の制裁処置や円安によることも要因と考えられるが、町民の生活の厳しさが日に日に増しているのが現状です。一般家庭は電気代、燃料の高騰や食料品の大幅な値上げに苦しんでいます。緊急的にも、支援策として、従来実施した商品券配布や水道料金減免策を実施すべきでは。

問

昨年来、燃料、電気、食料品などのあらゆる商品の値上がりが続いています。

答 昨年来、燃料、電気、食料品などのあらゆる商品の値上がりが続いています。昨年6月に「コロナ禍における物価高騰対応生活支援事業」、11月には「電力・ガス・食料品等価格高騰対応生活支援事業」を実施し、いずれも全町民に1万円の商品券を配布し、物価高騰に対する生活支援策を講じてきました。11月に配布した商品券の使用期限が本年5月までの間で、その期限を待って、物価変動や国の経済対策を踏まえ、支援策が必要と判断したときは対応する。

問

稲作農家や野菜生産者の農業資材、肥料が従来の倍以上に高騰していることや畜産・酪農家が粗飼料や濃厚飼料の高騰で経営継続の危機にあることを踏まえ、時限的な生産維持助成支援金制度の導入を行うべきでは。

答

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、国際流通体制が停滞し、化学肥料原料、配合飼料や粗飼料の価格が高騰しており、現在、国では肥料価格高騰対策事業及び配合飼料価格高騰緊急特別対策並びに国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策により支援が行われている。

町としても、昨年3月に「牧草等粗飼料生産の肥料高騰に対する再生支援交付金」、7月には「原油価格・物価高騰等に伴う支援」を行った。今後も農業全般について、国の動向を見極めながら、有効な支援策を検討する。

問

町内の各事業所（林業関係含む）は、円安や電気料金および燃料代の大幅な高騰にて、経営が最大限に圧迫されているので時限的な企業継続特別助成金制度導入を行うべきでは。

答

昨年、国の交付金、補助金等を活用し、農業を含む町内事業者に対して、売上金額に応じた支援を行った。今後も、ウクライナ情勢や円安情勢の動向を見ながら、商工会と連携し、情報を収集し町としてどのような支援が必要か検討する。また、「七ヶ宿町中小企業振興資金」の利用ができるよう対応する。



五十嵐 敏夫 議員

